

屋内ゲレンデへのヒートポンプ造雪システム

一年中、天然の雪のようなさらさらのパウダースノーを楽しむこの屋内ゲレンデは、お客さまにケガなく楽しんでいただけるようゲレンデ内の空調を営業時間中は -3°C 、夜間の造雪時には -5°C となるよう厳密な温度管理を行っています。

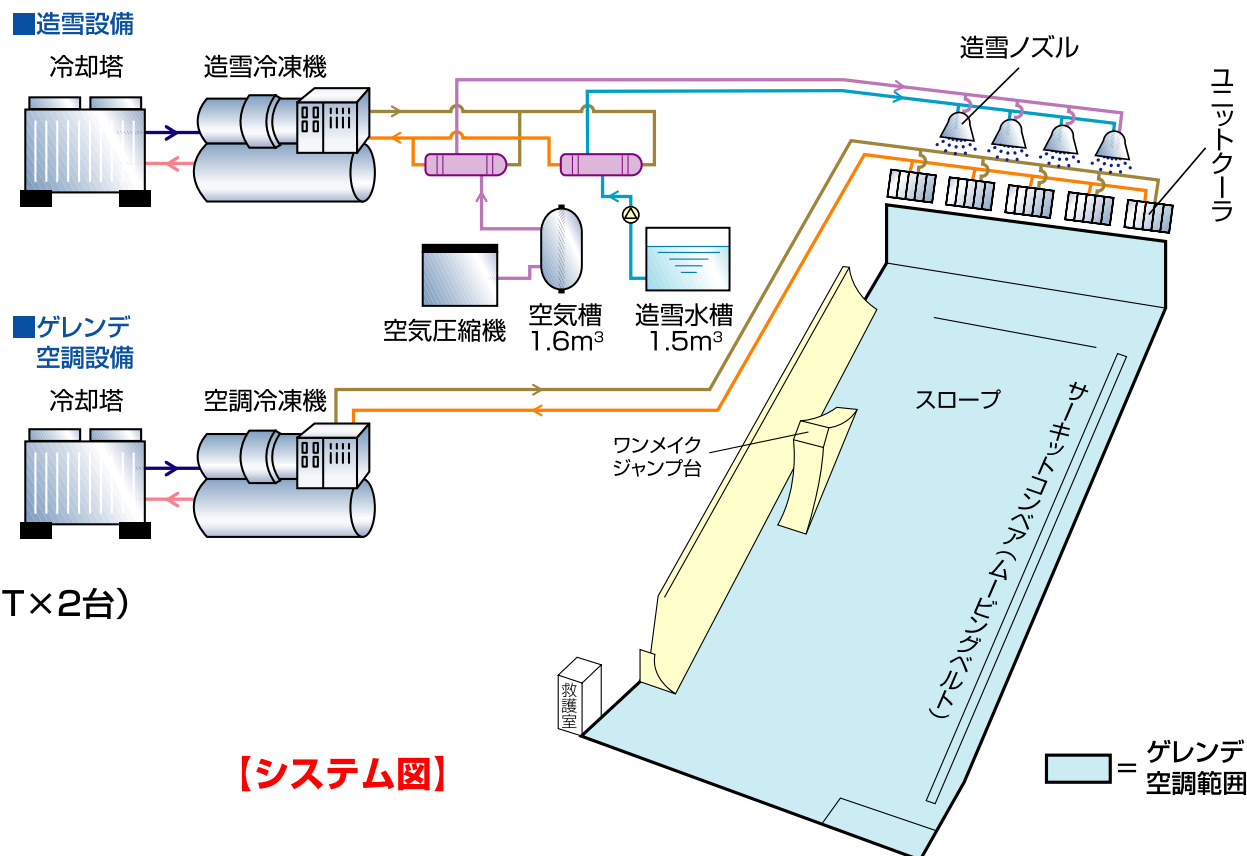
このように雪質や整備面においても十分な管理が必要でありますので、営業終了後に2時間整備を行い、その後割安な夜間電力を利用して降雪させ翌日の営業に備えます。夜間への電力負荷移行の結果、季節別時間帯別電力契約が可能となりゲレンデ品質の向上だけでなくコストの低減にも貢献しました。

改善効果

- 蓄熱調整割引額 13万円/年
- 蓄熱電力量 110MWh/年

設備概要

- 蓄熱システム
造雪設備：直膨冷凍機35RT×1台、
空気圧縮機75.8kW
(ゲレンデ空調設備：直膨冷凍機35RT×2台)
- 蓄熱対象負荷設備：95kW
(業務用季節別時間帯別電力契約)



【システム図】